



株式会社 ファルマ

弘前市北横町 19-1

Tel 0172-37-6016(代)

発行：編集委員会

印刷：小野印刷

■ 第 181 号 ■

民医連薬剤師として何ができるのか

取締役薬剤部長・ファルマ弘前薬局薬局長 相馬 渉

9月9日(土)、10日(日)に第45期全日本民医連薬剤部門代表者会議が、東京の有明TFTビルで3年ぶりに対面で開催されました。全国から160名の参加がありました。

学習講演は、「岐路に立つ日本、民医連の役割と薬剤師の皆さんへの期待」という題で、講師は全日本民医連会長の増田剛氏でした。戦後最悪の211国会の内容を説明し、岸田政権は、大軍拡・国民負担増へ憲法違反の異次元の大暴走を進め、戦争する国に向けて大転換をはかっていると指摘してい

ます。こんな時代だからこそ、情勢認識を一致させて、民医連綱領の実践、いのちとケア優先の社会を目指して活動していくことの重要性を学びました。また、薬剤師行動規範の紹介をして、薬剤師の社会的使命とは何か、民医連薬剤師の役割は何か、考えながら仕事をしていく大切さを教えてもらいました。その他に、問題提起、SGD(スモールグループディスカッション)がありました。

2日目は、病院薬局分科会と保険薬局分科会に分かれて、指定報告と分散会討論が行なわれました。様々な困難がある今こそ、民医連綱領、医療・介護活動の2つの柱、民医連薬剤師政策を踏まえ、私たちは何を指すのか、憲法を守り抜き社会保障を充実させるための取り組みやすべての人のいのちと人権が守られる社会、平和な社会にむけた薬剤活動を展開させるためにはどうしたらいいのか、展望を議論してきました。SGDはかなり盛り上がり



意見を出し合いディスカッションしました

処方箋獲得のために

弘前調剤センター 薬局長 佐藤 真由美

8月9日(水) 本社会議室にて拡大管理者会議が行われました。

獲得目標に①2023年度事業計画の再確認と経営課題の共有化②第一四半期の経営状況に関する討議③経営改善に向けた指標づくりとアクションプラン作成の3つを掲げ、11のテーマについて限られた時間内で討議しました。

ここ3年余りのコロナ禍で、患者様の受診抑制

や毎年の薬価改定の影響により、私たちの薬局経営は厳しいものとなっています。2024年は調剤報酬と介護報酬の同時改定があり、薬価差益はほぼ見込みがなく経営改善には処方箋獲得が何と

しても重要となります。そのための戦略として、電子処方箋の開始、SNS活用による獲得、地域活動や介護施設への営



業等、できることは何でもしていくことを管理者間で確認しました。

新入職員アンケート

8月28日(月)に入職された平尾 悟 薬剤師に自己紹介も兼ねて、アンケートに答えてもらいました。



Q1 出身地や出身大学、趣味や特技なども含め、簡単に自己紹介をお願いします

平尾 悟です。出身地は青森市、出身大学は青森大学です。

趣味は読書、散歩、ネットショッピングです。調べ物や考え事をするのが得意です。

Q2 薬剤師という職業を選んだのはなぜですか?

兄から貰った生薬図鑑がきっかけで薬学に興味を持つようになりました。薬剤師を職業に選んだのは、読書や調べ物が趣味の自分に薬剤師という職があっているのではないか、と考えたからです。

Q3 ファルマに入社した動機は?

ファルマは在宅医療や地域医療連携に積極的に取り組まれており、私が目指す「薬局の外でも活躍できる多彩な薬剤師」に近づくために最適であると思い、入社しました。

Q4 ファルマのスタッフにひと言お願いします

薬剤師2年目で、薬剤師としても社会人としてもまだまだ未熟者ですが、自分の出来ることをしっかり考え、頑張りたいと思っています。これから宜しくお願い致します。

組織として復興を支える大切さ

ファルマ弘前薬局 主任補佐 神 千穂美

9月15日(金) 16日(土)に、宮城県多賀城市で開催された人権としての社会保障セミナー第2クールに参加しました。

1日目は多賀城市中央公民館にて東日本大震災復興・復興支援みやぎ県民センター事務局長の小川清治氏より「宮城県の復興の現状の課題」について講義を受けました。講義では被災者の気持ち

ちや暮らしの変化から始まり、復興の進捗や問題点などがアンケートや市の報告などをもとにまとめられており、宮城県がかかえる復興の問題点について理解できる内容でした。

2日目は宮城民医連副会長、同復興支援会議責任者の矢崎とも子氏から「宮城民医連の災害公営住宅調査」についての講義を受けました。

災害公営住宅に入居している方を対象に経済的な負担感が健康状態や社会参加の有無などにどのような影響を及ぼしているかを調査した内容でした。

2日間を通して、大変な困難を抱えている人を見ていてこないこと、見えない困りごとを掘り起こして、支える、考えることが社保活動であり、そのためにはまず幅広い支援を行うことのできる組織作りが何よりも重要だとわかりました。

医療を提供できる可能性が高まることを理解しました。これからは臨床現場での判断において、科学的根拠を重視したアプローチを意識的に取り入れていきたいと思っています。講義は実践的で役立つ内容ばかりだったので、今後の薬局業務に活かしていきたいです。

ファルマ弘前薬局 薬剤師 小野 孝太



感じたことや感想を発表する神薬剤師

写真紹介

8/19 弘前市暮らしの保健室へ出前講座

8月19日(土)弘前市暮らしの保健室主催の出前講座が清水交流センターで開催されました。テーマは「高齢者の薬管理・お薬手帳とは?」「マイナンバーカード・健康保険証について」で、藤代薬局の水木薬剤師とファルマ弘前薬局の葛西課長補佐が講義しました。参加者は12名で、「薬を飲み忘れたらどうしたらいいの?」「薬は毎回同じ薬剤師からもらいたい」「ジェネリックと新薬ではどのくらい値段が違うのか」などの質問がありました。



初めての出前講座に少し緊張気味の水木薬剤師

最新知識へアップデート

ファルマ弘前薬局 薬剤師 外崎 佳奈

9月30日(土)新人研修に参加しました。研修の中で、薬についての講義があり、薬価やジェネリック不正製造事件、HPV(子宮頸がん)ワクチンなどに関する内容について講義を受けました。その中でもHPVワクチンについて、私自身(接種を逃した人)のための「キャッチアップ接種の対象になつていないのに、今現在のワクチンの状況や当時間問題となった副反応の詳細なデータなど知らない

ことが多いと気づきました。このことに限らず、常に最新の情報を追いついていく必要性を感じました。



メモを取りながら学ぶ外崎薬剤師



真剣な表情で話を聴く2年目の薬剤師の皆さん

STOP! 海洋放出

ファルマ弘前薬局 事務長 工藤 敏子

9月24日(日) 核燃・だまっちゃんおられん津軽の会主催の第39回市民講座に参加しました。「STOP! 海洋放出」ー国民の声を聞けーと題し、日本共産党の岩淵友参議院議員による講演がありました。

福島の住民は12年半もの間、損害賠償金額で分断されたり、損害賠償の打ち切りがあったり、何重もの苦しみを与えられてきたにも拘らず、汚染水の海洋放出によって、また苦しみを与えられたという言葉を

に胸が苦しくなりました。特に遠洋漁業は水揚げ高が震災前との比較で、まだ4割しか回復しておらず、ようやく5割を目指して本格操業へ向かおうとしている時だったそうです。政府が汚染水の海洋放出を選択した理由は、費用が一番安くて時間がからぬ方法だったようですが、当初の試算では34億円、現在では1,400億円と費用が増え続けているそうです。また、海洋放出は今年度タンク30基分を放出しますが、汚

染水が増える量は20基分とのことで10基分しか減らず、1日90t排出される汚染水の発生そのものを抜本的に減らしていく対策こそ、もっと真剣に取り組まないといけないという強い訴えが聞かれました。海洋放出は始まってしまいましたが、責任や期間についても曖昧なまま進めること

は、許してはいけないと思います。諦めずに海洋放出の中止を求めていくことが大切だと思います。



現状をわかりやすく話してくださった岩淵友氏

生きづらい世の中を変えるために

居宅介護支援事業所ファルマ 主任 伊勢 充

9月17日(日)に弘前文化センターを会場に「第3回市民フォーラム」毎日の生活こそ優先してよ岸田総理!生きづらい世の中にSay Good-bay」と題して行われ、会場には約30名が集いました。

フォーラムは、今後の国政選挙に備え、市民が日ごろ困っていることで問題提起し、制作に反映させようと開催されたものです。私は、介護保険に関する問題提起をする

立場で参加してきました。当日は、①物価高騰や通学格差、地球温暖化など問題②空き家問題③介護保険に関する問題が3名の出席者から提起されました。その後は安藤晴美県議、鶴ヶ谷貴典議から問題に対しての意見交換がなされました。どの問題も、生活に直結する重要な問題ですが、改めて問題提起を聞き、市民の生活がいかに情勢によって左右されているのか、逼迫さ

を感じていてのかを実感しました。市内に住む高校生の事例では、学校に通うだけで住む地域で大きな格差が生じていることも知り、びっくりしました。ひとしく教育を受ける権利、即ち憲法が守られていないというこの実態です。今の生活のなかで憲法と照らし合わせて「おかしい」と思うこと、声を出していくことが重要なのだと思いました。



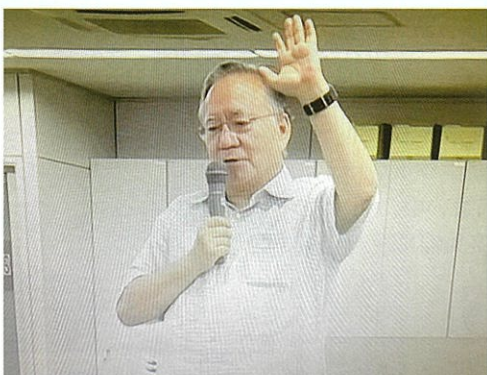
会場には約30名が集まりました

差別や偏見をなくすために

専務取締役 崎野 修

8月12日(土)に前プライマリケア連合学会会長の丸山泉先生を講師に迎えて学習会が開催されました。講師は丸山先生の実父で詩人の丸山豊先生の半生について語られました。豊先生は軍医として筆舌に耐えがたい悲惨な戦争体験を後世に伝えるために多くの詩を残したこと、戦後は生涯を通じてハンセン病患者と向き合ってきた物語を

語られました。当時は優生保護法下でハンセン病患者に対する不当な差別や人権侵害が横行していた時代であり、いち早くハンセン病に関する誤解や偏見に気づき、患者の苦しみに寄り添いながら真の黎明を追求し続けた豊先生の強い信念にとっても胸が熱くなりました。全体を通じて大軍拡



体験談を交えて講義をして下さった丸山先生

市民の運動で憲法9条をまもる

相談役 高松 利昌

9月9日(土)、リンクステーションホール青森4階中会議室で2023年九条の会第12回東北交流会が開催され、一橋大学名誉教授の渡辺治氏が「改憲と大軍拡で日本とアジアの平和は実現するのかー日本とアジアの平和を創る憲法の力を考えるー」と題して基調講演を行いました。

渡辺氏は始めに安倍政権もできなかった大軍拡がなぜ岸田政権でエスカレートしたかと問題提起、それは中国の経済発展や中国の覇権主義的国家化

によりアメリカの世界戦略が脅かされ続けていることに對する米国の変化がその背景にあると説明しました。そして、戦後日本が「平和」だったのは安保条約と自衛隊の存在によって支えられてきたものではなく、憲法9条があったことによるものだと、ベトナム戦争時の韓国軍等の派兵を例に、日本は当時米国からの派兵要請を断った事実があることを示し、憲法9条のもつ重みを強調しました。



たくさんの参加者が平和について考えました

写真紹介

東部仲町町会へ出前講座

8月20日(日) 東部仲町町会主催の出前講座が社会福祉センターで開催されました。講師は弘前調剤センターの津川薬剤師と居宅介護支援事業所ファルマの伊勢主任で、「なるべく薬に頼らない認知症との付き合い方」「介護保険制度改定内容」について講義をしました。

参加者は30名で、「薬を6～7種類服用している寝たきりの母の認知症が進んでいるのは薬が原因なのか」「介護を利用するにはいろいろなことが必要で費用もかかることを知った。定期的にお聞きしたい」などの質問や感想がありました。



会場いっぱいの参加者にわかりやすく講義をしました

黒石支部大原やまばと班へ出前講座

8月10日(木) 津軽保健黒石市支部大原やまばと班主催の出前講座が美原町会館で開催されました。講師は黒石薬局の成田薬剤師で「骨密度測定と運動・食生活について」をテーマに行われました。参加者は5名で、「運動に適切な時間帯や運動時間はあるのか」「食事量や骨の健康に必要な食材は何か」などの質問があった他、骨密度測定結果のアドバイスも行いました。



実際に対話しながら計測しました

弘前市立中央公民館へ出前講座

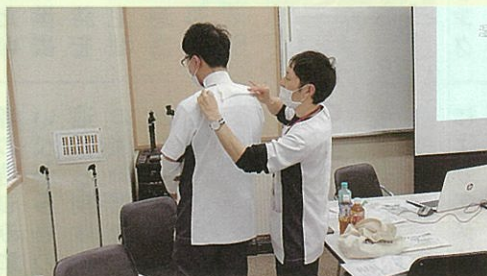
8月17日(木) 弘前市立中央公民館主催の出前講座が弘前文化センターで開催されました。講師は弘前調剤センターの工藤薬剤師で「お薬の正しい飲み方・使用方法」をテーマに行われました。参加者は27名で、「血圧の薬は飲み続けられないといけないのか」「今まで疑問に思っていたことが理解できたので安心して薬を服用できます」などの質問や感想がありました。



スライドを使って講義をする工藤薬剤師

青森市浪岡婦人の会へ出前講座

9月12日(火) 青森市浪岡婦人の会主催の出前講座が浪岡中央公民館で開催され、ファルマ浪岡薬局の高橋薬局長が「薬の正しい使い方」をテーマに講義しました。参加者は5名で、「足のむくみは腎臓が悪いのか」「骨粗しょう症薬と朝の牛乳は大丈夫なのか」などの質問があった他、同行した平尾薬剤師と共に湿布の貼り方の実演も行いました。



湿布の貼り方を実際にやってみました

憲法9条守れ集会とパレード

8月26日(土) 弘前駅前りんご広場にて「戦争反対! 憲法9条守れ! 集会とパレード」が開催されました。ファルマからは3名が参加し、日差しが強い中、ロシアのウクライナ侵略の中止や核兵器廃絶などを訴えました。



真剣な表情で代表者の訴えを聴く参加者

8月7日(月) よりファルマ弘前薬局で勤務しております。村元潤南と申します。前職は医療事務として弘前大学医学部付属病院に勤務しておりました。調剤薬局での業務は未経験ですが、医療事務で培ったスキ

ファルマ弘前薬局
むらもと 潤南

新入職員紹介

ルを活かしてファルマでも、安心して、信頼できる環境をつくれるよう努めていきたいと思っています。医療関係の仕事は、人の役に立っていると実感でき、とてもやりがいを感じていました。今後は調剤薬局事務で新たに知識をつけ、一日でも早く即戦力となるよう頑張りたいと思いますので、よろしく願います。

30代のわたし

弘前調剤センター 薬局長 佐藤 真由美

ファルマ 一ツ谷薬局が開局1周年を記念して金山焼に行った時の写真です。

当時ファルマにもう1店舗薬局ができることになり、私は開局メンバーの一員として五所川原に勤務することになりました。「五所川原地域を知ろう」という目標を立てて、様々な場所に行ったりして五所川原の歴史を知り勉強になった思い出があります。来局される方々は皆新規患者なので、初めの印象が大切であり今後も長く利用してもらえるように、薬局アピールを積極的に行いました。明るく元気な挨拶はとても喜ばれ、この取り組みが一ツ谷薬局の処方箋獲得につながっていると思っています。



生まれ年の干支と一緒に



金山焼の器を使用、おそばをいただきました

ファルマ公式
instagramはじめました

9月1日よりInstagramをはじめました!! 薬局の様々な情報をたくさん発信していきたいと思っていますので、ぜひご覧になってください。いいね! やフォローなども宜しくお願いいたします。